

週刊 SSH（3月6日）

## 在日フランス大使館訪問

3月末のフランスサイエンス研修に向けて、フランスの社会や文化、エネルギー政策などについて幅広く学ぶため、在日フランス大使館を訪問しました。

現地での学びをより深められるよう、フランスでのコミュニケーションの取り方やお土産などの一般的な話題から日本とフランスにおける原子力発電の違いまで様々な質問を行いました。原子力発電に対するイメージの違いとその背景として考えられる要因や、放射性廃棄物の処理に関するフランスの実情についてもお話を聞くことができました。

今回の訪問で得た学びを基に、フランスでの訪問先に向けた質問内容をさらに検討し、より充実した研修につなげていきます。



荷物検査を経て大使館に入館し、政治部に研修に来ている学生のアガットさんに、フランスの政治や現地で気をつけるべきことなどを原子力部のマリウスさんに、フランスの原子力規制や人々の意識などについて質問しました。アガットさんは一つ一つの質問に丁寧に答えてくれましたし、マリウスさんは日本語でも答えてくれました！原子力に関して、日本とフランスでは安全文化に違いがあるということが印象的でした。今回聞いたお話をもとに研修本番を楽しみたいと思います！